

第337号 2013年 8月30日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業 地域再生人材創出拠点の形成
「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」
「平成25年度 第4回被ばく医療プロフェッショナルセミナー」開催のお知らせ

弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」では、東京大学医科学研究所の坪倉 正治氏をお招きし、被ばく医療プロフェッショナルセミナーを開催いたします。

1. 日 時：2013年9月5日（木）18:00～19:00
2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科
第24講義室（6階）
3. 対 象：「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」受講生
教職員、学生、大学院生
青森県内医療従事者、原子力関連施設従事者、
青森県内保健行政関係者
4. 講 師：東京大学医科学研究所 坪倉 正治 氏
5. 演 題：「浜通りでの内部被ばくの現状と今後注意すべきこと」
6. 参加料：無 料
7. 申込み：9月4日（水）までに電話・FAX・メールのいずれかでお申込みください。



○メールの場合：メールの件名を「被ばくセミナー申込」とし、所属・職名・氏名を本文へ記入の上、E-mail：jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jpまでお申込みください。

○電話・FAXの場合：0172-39-5521（電話）
0172-39-5514（FAX）へ所属・職名・氏名を添えてお申込みください。

問い合わせ先：弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事務局
被ばく医療総合研究所
TEL：0172-39-5521
FAX：0172-39-5514

弘前大学教育学部附属教員養成学研究開発センター講演会

「山梨大学から学ぶ教職大学院の展望－弘前大学教育学部への示唆」開催のお知らせ

昨年8月、中央教育審議会「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（答申）」が出されました。この答申では、「教育委員会と大学との連携・協働による教職生活の全体を通じた一体的な改革、新たな学びを支える教員の養成と、学び続ける教員を支援する仕組みの構築」が提起されています。特に、教員養成改革については、「教員養成を修士レベル化し、高度専門職業人として位置付け」ること、具体的には「教職大学院制度を発展・拡充し、全ての都道府県に設置を推進すること」がその方向性として示されています。

現在、弘前大学教育学部においても、教職大学院の設置に向けて準備を進めているところです。今回はその準備の一環として、山梨大学大学院教育学研究科長であられる中村享史先生をお招きすることといたしました。同研究科教育実践創成専攻（教職大学院）は平成22年度に設置され、これまで「地域の学校の課題に即した学校改善・授業改善の構想力・実践力を育成するとともに、教育に関する高度の実践的専門性と教育実践を具体的な場でリードする力の育成」に取り組んでおられます。講演会では、山梨大学のこれまでの取り組みやその成果や課題とともに、本学部における教職大学院の設置に向けた示唆についてお話しいただく予定です。

1. 日 時： 2013年9月13日（金） 10:30～12:00
2. 会 場： 弘前大学教育学部棟1階 大教室
3. 対 象： 興味のある方ならどなたでも参加可能です。
4. 講 師： 山梨大学大学院教育学研究科長
中村 享史 氏
5. 申 込： 資料等の準備のため、参加を希望される方は
9月6日（金）までに問い合わせ先へE-mailにて
お申し込み下さい。



申込み・問い合わせ先： 弘前大学教育学部附属教員養成学研究開発センター 吉崎 聡子
TEL： 0172-339-3488
E-mail: kotosa@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学男女共同参画推進室 第6回講演会

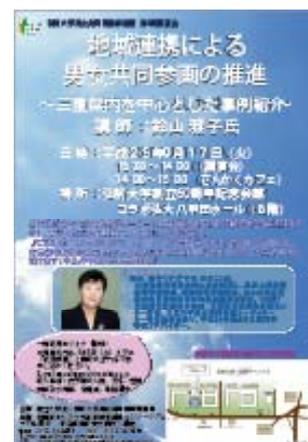
「地域連携による男女共同参画の推進～三重県内を中心とした事例紹介～」開催のお知らせ

三重県教育界における女性リーダーとして活躍されている鈴山先生を講師にお招きし、大学と地域との連携についてお話いただきます。

ご講演終了後14:00より“さんかくカフェ”を開催いたします。鈴山先生を囲んで、有意義な時間を共有しませんか。お気軽にご参加ください。

1. 日 時： 2013年9月17日（火）
13:00～14:00（講演会）
14:00～15:00（さんかくカフェ）
2. 場 所： 弘前大学創立60周年記念会館
コラボ弘大8階 八甲田ホール

3. 講師：三重大学 学長アドバイザー 鈴山 雅子 氏
4. 対象：本学教職員・学生（申込み不要・参加費無料）
5. 主催：弘前大学男女共同参画推進室
- 共 催：学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム



問い合わせ先：弘前大学男女共同参画推進室
TEL：0172-39-3888
E-mail：equality@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/

**平成25年度 弘前大学大学院医学研究科公開講座
「認知症の予防、治療、介護」開催のお知らせ**

認知症を正しく理解していただくために専門の医師による一般向けの公開講座を企画いたしました。

今回の公開講座では、弘前大学医学部附属病院神経内科で活躍する医師が、認知症についてわかりやすく解説します。参加費は無料です。是非多くの市民の皆様にご参加いただき、理解を深めていただきたいと思います。

1. 日時： 2013年9月20日（金） 18:00～20:00
2. 場所： 弘前大学医学部コミュニケーションセンター
（弘前市本町40番地1号）
※ 駐車場はありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
3. 講師： 認知症：予防
医学部附属病院 神経内科 講師 瓦林 毅
認知症：治療
大学院医学研究科 脳神経内科学講座 准教授 松原 悦朗
認知症：介護
大学院医学研究科 脳神経内科学講座 教授 東海林幹夫
4. 対象： 一般の方
5. 受講料： 無 料
6. 申込受付： 2013年8月5日～9月13日
（平日の9:00～16:30にお申込ください）
※定員80名に達し次第締め切らせていただきます
（定員を超えた場合にはご連絡いたします）。

電話、FAX、郵送、メールのいずれかの方法で下記までお申し込みください。

申込み・問い合わせ先： 弘前大学医学研究科総務グループ（総務担当）
（弘前市在府町5番地）
TEL：0172-33-5111（内線6781）
FAX：0172-39-5205
E-mail：med-pr@cc.hirosaki-u.ac.jp

平成25年度前期 弘前大学人文社会科学研究所
大学院FD公開発表会開催のお知らせ

1. 日 時： 2013年9月25日（水） 14：30～16：30
2. 会 場： 弘前大学人文学部4階 多目的ホール
3. 対 象： どなたでも参加できます。
※入場無料、事前の申込は不要です。
4. 内 容： 人文社会科学系研究科学生の研究発表

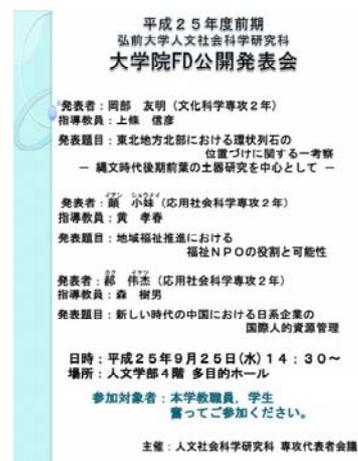
－発表者と発表題目－

岡部 友明（文化科学専攻2年）
「東北地方北部における環状列石の位置
づけに関する一考察
－縄文時代後期前葉の土器研究を中心として－」

顔 小妹（イアン ショウメイ）（応用社会科学専攻2年）
「地域福祉推進における福祉NPOの役割と可能性」

郝 イ杰（カク イケツ）（応用社会科学専攻2年）
「新しい時代の中国における日系企業の国際人的資源管理」

問い合わせ先： 弘前大学人文学部 総務グループ教務担当
TEL：0172-39-3195 齋藤ひろみ
E-mail：jm3195@cc.hirosaki-u.ac.jp



ひろがれ「弁当の日」開催のお知らせ

香川県のある小学校からはじまった「弁当の日」。この日、こどもたちは親の手を借りず 自分
の力だけで弁当を作ります。この体験を通して、食の大切さや家族の愛情に気づき、自立心を養っ
ていくのです。

今回のシンポジウムでは「弁当の日」の取り組みを通じて、食事を作ることの大変さ、一緒に食
べることの楽しさ、食への感謝、そして心身の健康について、家族をもつ皆さん、これから親になる
皆さん・大学生・保育士・学校の先生・医療関係者・農業生産者などの皆さんに参加していただき、
「食育」について「学び・考え・行動する」きっかけにさせていただけたらと思い企画しました。

みなさんと一緒にここ弘前から弁当の日をひろめていきましょう。

1. 日 時： 2013年10月12日（土） 13：00 ～ 16：45
2. 場 所： 青森県武道館
（青森県弘前市大字豊田2丁目3）
3. 対 象： どなたでも自由にご参加いただけます。
4. 講 師： 前香川綾上中学校校長 竹下和男 氏
助産師 内田美智子 氏
西日本新聞社編集委員 佐藤弘 氏
弘前大学大学院医学研究科長・医学部長 中路重之 氏



5. 主 催：弘前大学、弘前大学生協同組合
6. 申込方法：FAXまたはWEB（携帯可）でお申込みください。
「FAX申込用紙」を下記のホームページからダウンロードすることも
できます。
2名以上で参加される場合は、全員分についてご記入ください。
代表者以外の方はお名前、年齢のみで結構です。

<<FAXの場合>>

FAX送付先 0172-36-6965

※参加申込用紙[PDF]または、参加申込用紙[Excel]を
ダウンロードしてご使用ください。

<<WEBの場合>>

下記URLからお申込下さい。

<http://www.hirosaki.u-coop.or.jp/bento/>

7. 申込受付期間：2013年8月10日（土）～10月6日（日）
但し、定員1000名に達し次第受付を終了します。

※9月後半から随時、「参加証（はがき）」をお届けしますので、当日ご持参ください。

※お申込人数を超えた場合は、恐れ入りますが来場制限する場合がございます。

※無料シャトルバス、お弁当をご利用の方は事前予約が必要です。お早めにお申し込み下さい。

問い合わせ先：弘前大学生協同組合
TEL：0172-34-4806

「平成25年度 第3回被ばく医療プロフェッショナルセミナー」開催のお知らせ（再掲）

弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」では、広島大学原爆放射線医科学研究所の
田代 聡教授をお招きし、被ばく医療プロフェッショナルセミナーを開催いたします。

1. 日 時：2013年9月3日（火）18:00～19:00
2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科 第24講義室（6階）
3. 対 象：「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」受講生
教職員、学生、大学院生
青森県内医療従事者、原子力関連施設従事者、
青森県内保健行政関係者
4. 講 師：広島大学原爆放射線医科学研究所
細胞修復制御研究分野
教授 田代 聡氏



5. 演 題：「放射線による染色体異常の形成とゲノム修復機構」

6. 参加料：無 料

7. 申込み：9月2日（月）までに電話・FAX・メールのいずれかでお申込みください。

○メールの場合：メールの件名を「被ばくセミナー申込」とし、所属・職名・氏名を本文へ記入の上、E-mail：jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jpまでお申込みください。

○電話・FAXの場合：0172-39-5521（電話）

0172-39-5514（FAX）へ所属・職名・氏名を添えてお申込みください。

問い合わせ先： 弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事務局
被ばく医療総合研究所

TEL：0172-39-5521

FAX：0172-39-5514

「第15回青森継続看護研究集会」開催のお知らせ（再掲）

青森継続看護研究会は、専門職のコミュニケーション・スキルと説明責任 - 日頃のコミュニケーションを問い直そう - をメインテーマに、下記のように開催いたします。どなたでも参加できます。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2013年9月7日（土） 10：30～16：35

2. 会 場：弘前大学医学部コミュニケーションセンター
（弘前市本町40-1）

3. プログラム：

○示説発表 10：35～11：35

1群 座長：横山 純子 氏（一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター看護師長）

2群 座長：則包 和也 氏（弘前大学大学院保健学研究科講師）

病院、訪問看護ステーションから、6演題の発表があります。

○教育講演 13：00～14：40

「専門職に活かすコミュニケーション技術」

講師：大島 武 氏（東京工芸大学芸術学部 教授）

座長：木立 るり子（青森継続看護研究会会長／弘前大学大学院保健学研究科教授）

○シンポジウム 14：50～16：30

「それぞれの立場からのコミュニケーション・スキル」

コーディネーター：今村 かほる 氏（弘前学院大学文学部准教授）

病棟看護師、訪問看護師、メディカル・ソーシャル・ワーカー、ケアマネジャーの立場から発表していただきます。



4. 参加費：資料代として500円をお願いしています。参加申し込みは不要です。

問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 木立るり子
TEL・FAX：0172-39-5922
E-mail：kidachi@cc.hirosaki-u.ac.jp

第15回「家庭でできる看護ケア教室」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2013年10月31日（木）13：00～15：30
2013年11月14日（木）13：00～15：30
2. 会 場：弘前大学医学部コミュニケーションセンター（駐車場はありません）
3. 対 象：市民の方々（先着順で30名様）
4. 参加費：無 料
5. プログラム：

第1回：10月31日（木）13：00～15：00
「家庭でできる感染予防～自分・家族を守る方法～」
「知って得するおむつのはなし
～おむつの当て方のコツ、皮膚トラブルの対処まで～」

第2回：11月14日（木）13：00～15：30
「健康的ないきいき生活のちょっとしたコツ
～生活習慣見直しのきっかけになります！～」



※看護の専門領域で活躍するナースが講師となり、実際に即した方法をお伝え致します。
※講義は1回のみ参加も可能です。申込時にお知らせください。
※第2回目は、簡単な運動もありますので動きやすい服装でおいでください。

6. 受付期間：2013年10月1日（火）～10月18日（金）
土・日曜日・祭りを除く9：00～17：00
7. 主 催：弘前大学医学部附属病院 看護部
(この事業は、社団法人青森医学振興会の助成金で運営されております。)

申込み・問い合わせ先： 弘前大学医学部附属病院 地域連携室 福士明美
TEL：0172-39-5337

**文部科学省「情報ひろば」にて
弘前大学「被ばく医療」の取組に関する企画展示のお知らせ（再掲）**

弘前大学は、文部科学省 情報ひろば「旧秘書官室」において、『「被ばく医療」の取組』について、一般の方々に分かりやすく紹介するための企画展示を行うことになりました。
これまで本学が取り組んできた被ばく医療人材育成や東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故での福島県への支援等について、パネル等で紹介いたします。

1. 展示期間等：2013年8月1日（木）～11月末（予定）
月曜から金曜の10:00～18:00 ※土曜・日曜・祝日は休館日です。
2. 展示場所：旧文部科学省庁舎3階 情報ひろば「旧秘書官室」
（東京都千代田区霞が関3-2-2）

3. 展示概要：

本学では、緊急時の危機管理対策の一環として、以前から被ばく医療に即応可能な体制の整備に取り組んでおり、これまでに、医学部、大学院保健学研究科、被ばく医療総合研究所等において被ばく医療の教育、研究を通して、被ばく医療を担える人材の育成を図ってきたほか、医学部附属病院高度救命救急センターでは、被ばく患者を受入、治療を行える体制を整えてきました。

東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、大量の放射性物質が大気中に放出され、環境等への影響を及ぼすようになったことから、放射線に関する基礎知識を多くの方々に理解していただくとともに、本学がこれまで取り組んできた被ばく医療に関連する人材育成や福島県への支援等について紹介します。

【主な展示物】

○パネル展示

- ・放射線の基礎知識
- ・被ばく医療の人材育成
- ・福島県への支援
- ・活動成果の学術的情報発信 など

○実物展示

- ・霧箱（放射線の飛跡を観測することができる装置です。）
※霧箱実物を展示しますが、放射線の観測は、事前に撮影した映像をモニターで紹介します。
- ・放射線測定器
※日常生活で身のまわりにある「乾燥コンブ」等の放射線測定器「ベータちゃん」で測定できます。

問い合わせ先： 弘前大学総務部広報・国際課
TEL：0172-39-3012
E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

Radiation Emergency Medicine編集委員会編「Radiation Emergency Medicine Vol.2 No. 2」（A4変形判・89頁・定価1,100円：税込）を出版しました。

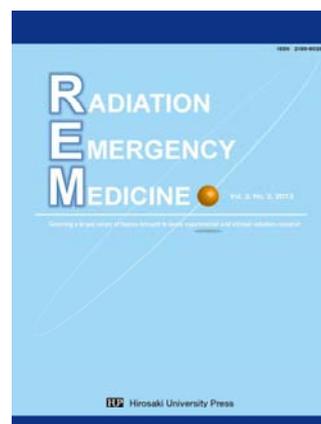
～紹介文～

弘前大学は、さまざまな原子力関連施設が立地する青森県における唯一の総合大学として、万が一の事態に際して地域の安心・安全を確保するため、被ばく医療に関連する取組を推進してきました。平成22年度からは、社会システム改革と研究開発の一体的推進事業による地域再生人材創出拠点の形成「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」を、青森県との連携・協力事業としてスタートさせ、この事業の一環として、緊急被ばく医療に関連する研究成果の共有および情報発信を目的に、平成24年3月に被ばく医療に関する学術

誌を発刊しました。本誌は、世界に発信しグローバルなつながりの中で研究を深めていくために、英文での発行としました。今回の第2巻2号では、様々な領域から12報の論文に加えて、3年間の本育成課程を修了した1期生9名による調査・研究成果報告の英文要旨を掲載しております。

今後も、疫学調査、生物影響、線量評価、被ばく医療教育、放射化学分析、放射線看護、放射線計測、放射線防護、臨床研究など広い分野にわたる論文を発信していく予定です。皆様からの投稿もお待ちしております。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。



弘前大学震災研究交流会 編「東日本大震災 弘前大学からの展望」

【2011-2012】—それぞれの3.11— (A5判、251頁、定価1,680円：税込) を出版しました。

～紹介文～

本書は国立大学法人弘前大学からの震災通信である。自然のすごさがどんなものかを見せつけられた大災害だった。被災地を中心に東北に国内の目、世界の目が向いた。大震災は青森県でも小さくはなかったが、岩手県、宮城県、福島県のものとして語られた。この3県への衝撃と比較されて青森県の扱いが小さいものとなった。発災から2ヶ月が経って、弘前大学に市民や研究者が集まり、青森県を中心に、弘前市で大震災を語った。災害を引き起こした地震のこと、被災地のこと、避難所のこと、復興過程の問題点、被災を伝えるメディアのこと、弘前からの被災地支援のこと、復興ビジョン、小さな教室でのつぶやきのようなものを続けた。どんな地域にもそれぞれの大震災がある。私たちはそう思って、大震災のことを語り、聞き続けた。その成果が本書である。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。



弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
TEL：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第28号・第25号・第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますので
ご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と1
6日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当: 総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX:39-3498、内線:3029